

## 蒲生干潟の地形調査

### ■ 潟湖の大きさの変化について

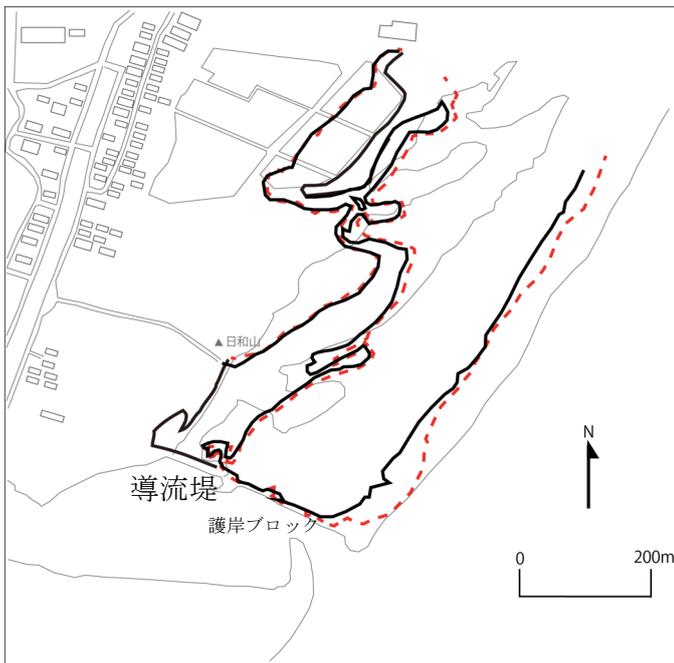


Fig.1 2015年2月11日と3月18日の汀線の簡易測量結果

Fig.1はGPSによる蒲生付近の汀線の簡易測量の結果である。赤の破線で示されているのが干潮時に観測した2月の結果である。今回の調査は満潮の時間帯に行ったのにも関わらず、潟湖の水位は2月のそれより低い結果となった。また、潟湖内の導流堤付近ではFig.2に見られるように州が拡大していることが今回の調査で確認された。



Fig.2 導流堤付近の潟湖内で拡大した州

### ■ 護岸ブロック付近の浸食



Fig.3 流れ込む水 西側から撮影



Fig.4 流れ込む水 東側から撮影

河口の護岸ブロック付近の浸食は進んでおり、護岸ブロックを越えて水が流れ込んでいた。(Fig.3・4) Fig.4の黄色丸で囲んだ付近には浸食により高さ17cm程の崖が形成されていた。(Fig4・5)



Fig.5 浸食によりできた崖



Fig.6 浸食によりできた崖

これまでの調査では河口付近は堆積と浸食を繰り返していることが報告されているが、2月同様に現在は浸食の段階にあると考えられる。今後も更に調査を続け、その規則性やメカニズムを明らかにしたい。